

2019年5月27日

お客様ならびにお取引先 各位

株式会社ディーアンドエムホールディングス
インポートブランドグループ

Pro-Ject 製アナログ・レコード・プレイヤー (S シェイプ・モデル) の仕様変更について

拝啓 平素より Pro-Ject 製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

この度、弊社では Pro-Ject 製アナログ・レコード・プレイヤーの現行 3 機種につきまして、下記内容にて製品仕様の変更を行うこととなりましたのでご案内申し上げます。

敬具

記

【対象機種】

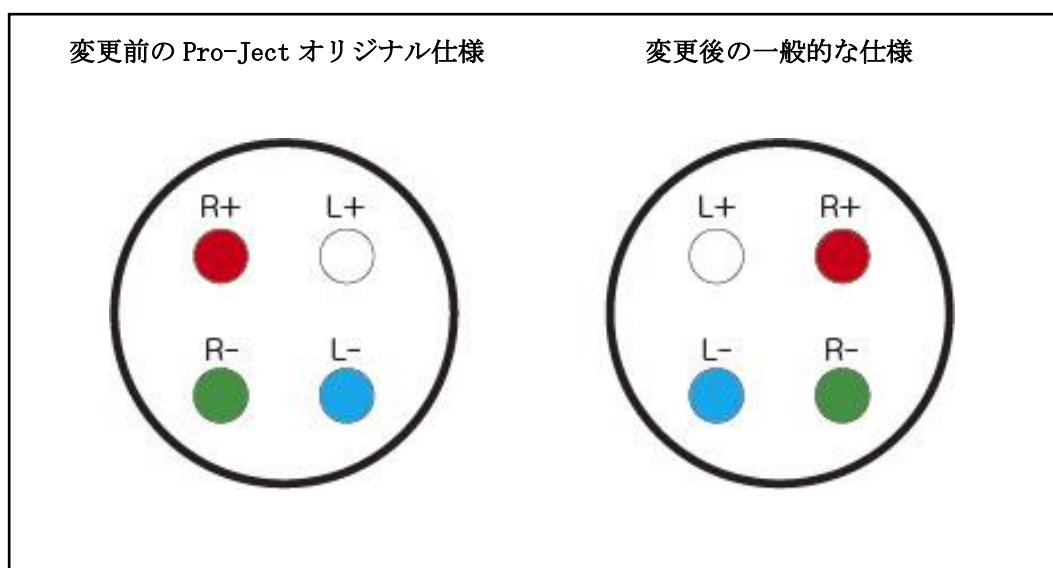
1XPERESION 2XPERIENCE、XTENSION9

※すべて S-シェイプアーム装備のモデル

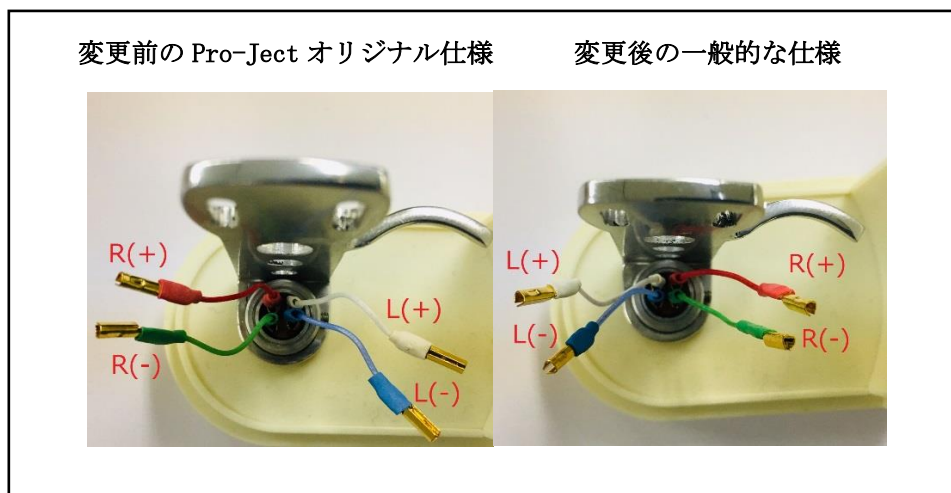
【仕様変更箇所】

トーンアームのコネクタピン配列、及びヘッドシェルのリード線配線の変更を行います。

- ・トーンアームのコネクタピン配列の変更： 下図のように、L-ch と R-ch を逆転させます。図はトーンアームのヘッドシェル結合部（アーム側コネクタピン）のイメージ図です。



- ・ヘッドシェルのコネクタピン配列の変更： 上記トーンアームのコネクタピン配列の変更に伴い、標準装備ヘッドシェルのデフォルト配線を下記のように変更します。



本仕様変更について

仕様変更前のコネクタピン配列は、製造ミスではなく、Pro-Ject 独自の設計に基づく世界共通の製品仕様です。Pro-Ject が製品設計時の基準としているカートリッジを装着した場合に、L/R 両チャンネルのチャンネルセパレーション悪化の要因となるシェルリードの交差を防ぎ、音質を最優先すること目的として意図された製品仕様でありました。しかし、このコネクタピンの配列は、一般的な他社製品の配列とは L-ch と R-ch が逆の配列となっております。このコネクタピンの配列、もしくはカートリッジ側のピン配列については、世界的にも日本国内においても工業規格は存在しません。しかしながら、今日では、SME 社に代表されるピン配列が一般的な通例となっております。そのため、お客様側での使い易さを優先させるため、本仕様変更を行うこととなりました。

Pro-Ject が設計時の基準としていたカートリッジは Tesra 社製の VM2102、VM2102 (1970 年～80 年製造) です。Tesra 社のアナログ・レコード・プレイヤーの技術の多くは、現在の Pro-Ject に引き継がれており、この独自の仕様には歴史的な側面がございます。

仕様変更が施された個体かどうかは下記の方法によって、識別が可能です。

【仕様変更前の製品のモデル別シリアル番号】

1XPERESION	000205 以前の番号のもの
2XPERIENCE	000340 以前の番号のもの
XTENSION9	000169 以前の番号のもの

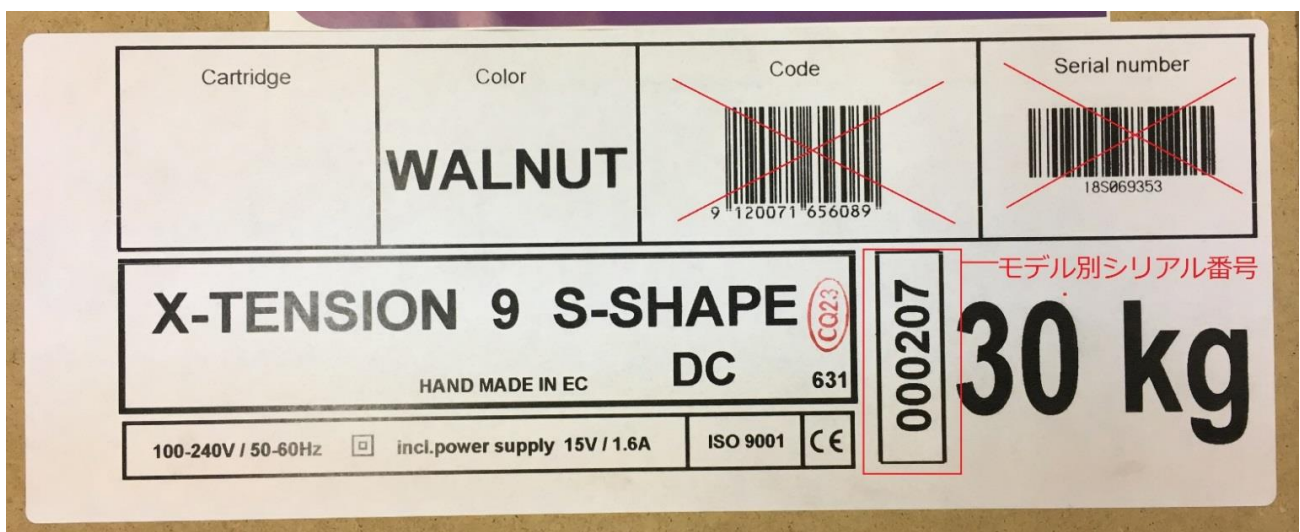
【モデル別シリアル番号の確認方法】

製品の個装箱側面にあるステッカー上、もしくは製品本体シャーシー底面のステッカー上にある 6 ケタの「モデル別製造シリアル番号」をご覧ください。※詳細は下記「確認方法」をご覧ください。

- ・製品本体ステッカーでの確認方法 「モデル別シリアル番号」は製品本体シャーシーの底面にある番号をご確認ください。※ステッカー下部にある「Serial Number」ではありませんのでご注意ください。



- ・製品の個装箱での確認方法 「モデル別シリアル番号」は製品個装箱の側面にある番号をご確認ください。
※ステッカー上部の「Serial Number」ではありませんのでご注意ください。



変更前の仕様のまま製品をご使用されると、下記のような事象が発生いたします。

《ケース 1》 該当機種に付属の純正ヘッドシェルをそのまま使用される場合。

事象と対処方法： 特に問題はありません。そのままご使用いただけます。

《ケース 2》 該当機種にオルトフォン SPU 等のヘッドシェル一体型カートリッジを使用される場合。
または、他社製のヘッドシェルを用いて、他社製レコードプレイヤーと Pro-Ject 該当機種で、カートリッジ装着済のヘッドシェルを共有使用する場合。

事象と対処方法： プレイヤーの出力端子からは、L-ch と R-ch の音声信号が逆に出力されます。そのため、フォノ入力側のケーブル接続の時点で、Lch、Rch を逆に配線してください。また、付属品の純正ヘッドシェルを併用する場合も、シェルリードの配線も L-ch と R-ch を逆に接続してください。

【無償改修について】 上記の方法を取ることで、いずれもケースにおいても、問題となる事象を回避することが可能となりますが、ご希望のお客様に限り、無償にて仕様変更後の製品仕様への改修を承ります。尚、本改修につきましては、Pro-Ject 本社の承認を受けて弊社 D&M が行うものとなります。

「対象シリアル番号」に該当される製品をお持ちで、改修をご希望されるお客様、上記のご案内について、ご不明な点があるお客様は、大変お手数ですがシリアル番号をお控えいただき、下記の弊社ご相談窓口までお電話にてお問い合わせください。

ご相談窓口： 株式会社ディーアンドエムホールディングスお客様相談センター
電話番号 0570-666-112 または 050-3388-6801
営業日：月曜日～金曜日（祝祭日、弊社休日を除く）

【無償改修に関する注意点】

- ① 改修後の製品については、製品底面のシリアル番号付近に、改修済を表すマーキングシールを貼付けますのでご了承ください。
- ② 改修作業は弊社サービスセンター内にて行います。出張での改修は行えませんのでご了承ください。また、改修を依頼される場合は、輸送事故を防ぐため、厳重な梱包をお願いします。特にトーンアームは動かないようにしっかりと固定をお願いします。梱包についてご不安のある方は、お客様相談センターまでご相談ください。

今後とも末永く Pro-Ject 製品をご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

以上